

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年相談事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課					
施 策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり	主管課長	恩田 一成					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住・在学の20歳未満の青少年及び保護者	意図	日々の健全な社会生活や学校生活を送れるように、安心していつまでも相談に乗れるようにする。
事業内容	青少年の健全育成を図るために、専門相談員による青少年や保護者等からの電話、来所及び訪問相談の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	青少年のコミュニケーション能力の低下、社会性の未熟さが社会問題となっていることから、昭和61年から本事業がスタートし、平成21年度からは、2名体制から3名へと相談業務体制の拡充を図った。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	相談件数	626	727	626	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	例年、継続した相談件数も多く、相談内容も多岐にわたっていることから、より広範囲の人材から相談員を募り、相談業務に対応した。		

  

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,595,080	7,681,090	7,722,070
事業費(b)(円)	4,635,880	4,659,790	4,700,770
うち一般財源	4,635,880	4,659,790	4,700,770
職員給与費(c)(円)	2,959,200	3,021,300	3,021,300
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	2.70	2.70	2.70
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	継続して引きこもりや不登校、就学、就業について本人及び保護者、家族からの相談に応じる。	③取組の課題	相談内容の多様化、複雑化により他の関係機関（相談機関）との連携を強化する。
②今年度(H29)に実施した取組	継続的な相談が多く、内容も長期化、複雑化しており、相談数、相談件数の増加により対応できるように相談の共通理解や関係機関への働きかけに重点を置いた。	④今後(H30以降)の改善計画	より一層の相談員研修の充実と関係機関とのより細かな情報の交換と問題解決への連携を図る。